

ニジマス引き強い 27.9.29 宮田

で
綾釣り大会



フールに釣りざおを垂らしてニジマス釣りを楽しむ参加者たち

綾釣り・つかみ捕り大会は27日、同町北俣の綾るほの森の清流プールであった。小雨が降るあいにくの天気だったが、町内外から約400人が参加。多くの家庭連れが、ニジマス釣りやアユのつかみ捕りを楽しんだ。

河川環境や生き物について広く知ってもらおうと、綾漁業協同組合（増田正範組合長、300人）が初めて企画した。プールに約3千匹のニジマスを放し、即席の釣り堀を設置。参加者たちは同組合

員が手作りした釣りざおに餌のイクラの塩漬けを付け、釣りを始めた。手応えがあると「やった」と歓声を上げながら引き上げ、体長20センチほどのニジマスを次々と釣り上げていた。またアユ約千匹のつかみ捕りもあり、子どもたちは懸命に魚を追い掛けていた。

家族4人で参加した三股小1年、加治屋哲夫君（6）は「三股町樺山は「釣り堀で魚釣りをしたのは初めて。ニジマスは引きが強く面白かった」と話した。